

社会人短期教育プログラム（科目等履修生制度）の紹介

科目等履修生制度とは、自分が希望する科目を1科目から受講することができる制度です。受講科目の試験に合格すれば、その科目の単位を取得することができます。

本学では、ほとんどの科目で Semester制（半期ごとの単位修得制度）を採用しているため、半期（約4ヶ月）だけの受講も可能です。

【モデル例】※複数の科目を組み合わせることにより、次のような教育モデルになります。詳細についてはお問合せください。

《機械系》製図技術者モデル 設計技術者モデル 材料技術者モデル デザイン（意匠設計）技術者モデル
技術営業職（機械製品対象）モデル CAD利用技術者試験（2級）取得モデル CG（クリエイター）検定取得モデル
機械設計技術者試験取得モデル エネルギー管理士（熱分野）取得モデル

《電気電子系》電気技術者（初級）モデル 電気技術者（上級）モデル 電子技術者モデル 電子通信技術者モデル

《情報系》プログラマモデル（基礎編） プログラマモデル（実践編） システムエンジニアモデル
インターネットについて学びたい 3次元CADソフトウェアの基本的な操作を学びたい マルチメディアについて学びたい
CG、画像処理について学びたい プレゼンテーションについて学びたい

受講費用

◎ 講義・演習科目

1単位につき23,000円です。（多くの場合、1科目あたり2単位46,000円です。）

◎ 実験実習等科目

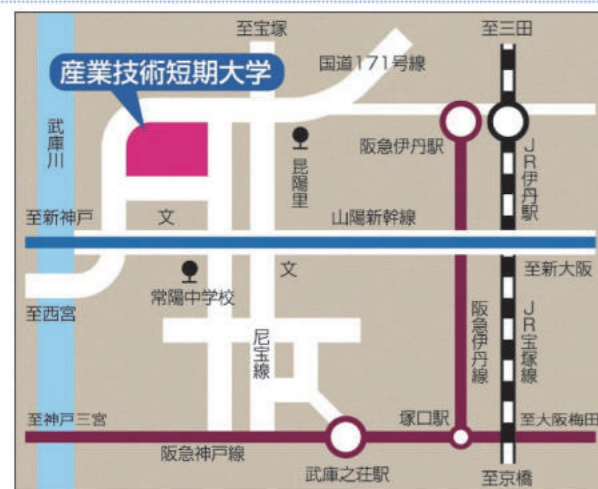
1単位につき33,000円です。（多くの場合、1科目あたり3単位99,000円です。）

出願期間

2022年度前期：2022年2月1日（火）～3月15日（火）

2022年度後期：2022年7月中旬～9月上旬

※出願資格等については、お問合せください。



(武庫之荘ルート)

阪急電鉄神戸線「武庫之荘」駅下車、北出口を出て、阪神バスの2番乗り場（40番・41番）でバスに乗り、「常陽中学校」下車（所要約15分）、北へ約300m。

(伊丹ルート)

JR（または阪急）「伊丹」駅下車、伊丹市営バスの3番乗り場（1番・4番・7番）、または2番乗り場（13番・14番）でバスに乗り、「昆陽里」下車（所要約15分）、西へ約400m。

お問合せ先 産業技術短期大学（入試広報課）

〒661-0047 兵庫県尼崎市西昆陽1丁目27-1

TEL 06-6431-7022(直通)

<https://www.sangitan.ac.jp/>



HPはこちら

学校法人鉄鋼学園 産業技術短期大学／人材開発センター

社会人教育プログラムのご案内

◎短期大学の学生として、専門科目を含め幅広く学ぶ2年課程

◎専門科目を中心として、短期間で学ぶ履修証明プログラム
（社会人1年生課程）

◎企業ニーズに則した人材開発センターの各種研修、通信教育

◎特定の科目だけを半期（約4ヶ月）単位で学ぶ科目等履修生制度

1962年の開学以来、本学園では、企業から派遣される社員を短期大学生として受け入れております。



産業技術短期大学について

本学は、1962年に開学した工学系の短期大学で、現在、企業から派遣された社会人学生が、2年課程に約60名、1年課程に11名が在籍しています。

※2021年4月1日現在

【設置学科】機械工学科/電気電子工学科/情報処理工学科/ものづくり創造工学科

人材開発センターについて

企業の人材開発を目的として、研修、通信教育を実施しています。

主な研修として、現場作業向け階層別研修、管理者・スタッフ向け研修、対人能力向上研修、鉄鋼関連の技術研修等があります。

社会人教育（本科 2年課程）について

- 産業技術短期大学は、「産業界の将来を担い得る学力と識見を備えた技術者を育成する」という建学の精神のもと、高校を卒業して企業に入社した社会人に短期大学課程の教育を行っています。
- 社会人学生は、高校卒業後に進学してきた学生と机を並べて体系的な工学教育を受けています。
- 開学以来、多くの社会人学生を受け入れ、約7,000名の卒業生を送り出しています。

わが国唯一の総合工学系短期大学

機械工学科、電気電子工学科、情報処理工学科、ものづくり創造工学科の4学科を有する本学は、わが国で唯一の総合工学系短期大学です。文部科学省の設置基準に対応した2年間の教育を受けることにより、卒業時には学校教育法で明記された「短期大学士」の学位が授与されます。

OJTでは得られない体系的工学教育、大学生活

- 講義のみならず、実験、演習、卒業研修等の科目により、各学科とも数学、物理等の基礎科目、英語等の一般科目、材料力学、電磁気学等の専門科目まで体系的な工学教育を受けることができます。これは通常のOJTでは受けることができないもので、本学で得た体系的な知識や技術に、企業生活で得た経験等を融合させることにより、より優れた技術者としての活躍が期待されます。
- 卒業研修は、担当教員指導のもとで特定の研究テーマについてグループで研究を進める、課題解決型(Project Based Learning)の研修です。問題解決能力やリーダーシップの涵養に有効であり、業務改善提案ができる社員へと成長することが期待されます。
- 本学では、大学祭等の大学行事があり、さらに、課外活動として、体育系、文化系のクラブも活発に活動しており、これらの活動を通じて人としての幅が広がります。
- 鉄鋼業界が設立した短期大学として、鉄鋼に関係する金属工学特設科目を設けており、鉄鋼に関する基礎教育を受けることができます。

企業の枠を超えた社会人教育

- 近年の社会人学生は1学年30名程度で、鉄鋼企業のみならず、非鉄、電気、プラント、重工等さまざまな企業から派遣され、企業、業界の枠を超えて学生生活を送っています。社会人学生の相互交流は、自身の業務課題について意見交換できる貴重な機会であり、さらに、将来に役立つ人脈作りの場ともなっています。

社会人学生のための配慮

- 入学試験対策や数学等の基礎学力に不安を感じる方のために、約3か月の事前研修(オプション講座)をご用意しています。

【各学科の教育内容と2021年度カリキュラム例】※授業科目によっては、実施時期等により履修できない場合があります。

【機械工学科】

微分積分、応用数学、物理学を基礎として材料力学、熱力学、流体力学の機械工学基礎3力学と「ものづくり」のための機械設計製図、工業材料、機械製法を学ぶ。こうした専門知識により業務で必要とされる思考力と行動力を養う。

1年次		2年次	
前期	後期	前期	後期
工学解析	微分積分学演習	応用数学II	機械振動工学
微分積分学	線形代数演習	材料力学II	材料力学III
線形代数	応用数学I	流体力学II	流体力学III
物理学基礎	材料力学I	熱力学II	熱力学III
工業力学	流体力学I	機構学	機械製法
機械工学演習	熱力学I	機械CAD	機械設計製図
機械情報工学演習	機械設計	機械工学実験II	CAE基礎
機械製図法I	機械製図法II	工業材料	自動制御
工学基礎演習I	工学基礎演習II	燃焼工学	電気工学概論
ロボティクス基礎	機械工学実験I	機械計測	情報工学概論
	基礎化学演習	卒業研修	産業組織と工学倫理 卒業研修

【電気電子工学科】

数学系科目、物理学等を基礎として、電磁気学、回路理論、電気計測、電子デバイス等の専門基礎科目、および発電・送配電、制御、通信等の専門科目により電気電子工学の基本を身に付け、応用問題の解決ができる技術者を目指す。

1年次		2年次	
前期	後期	前期	後期
工学基礎演習	電子デバイス工学	応用実験I	応用実験II
電気基礎実験	電気基礎実験	電磁気学II	送配電工学
微分積分学I	電磁気学I	制御工学	電気法規及び電気施設管理
回路理論I	電磁気学I演習	電子回路	電気材料
電気電子基礎	回路理論II	発変電工学	電気設計製図
回路理論I演習	過渡現象論	電気機器学	応用シーケンス制御
デジタル回路	電気計測	マイクロプロセッサ基礎	アナログデバイス信号処理
電気数学	線形代数A	シーケンス制御	データ通信工学
電気数学演習	微分積分学II	通信工学	機械工学概論
線形代数	応用数学I	応用数学II	情報工学概論
線形代数演習	物理学II	コンピュータシステム	卒業研修
物理学I	情報処理演習	卒業研修	
情報処理基礎演習			
無線工学			
電波法規			

【一般教育科目】

国語基礎、日本語表現法、英語表現法、英語特別演習、英会話初級、保健体育、生物学、心理学、日本語のはじまり、社会と経済のしくみ、経営学、くらしと法律、地球環境論

社会人選抜入学試験（2022年度の例）

【面接方式・学力検査方式のいずれかを選択】

受付：2022年2月10日（木）～2月24日（木）

試験日：2022年3月3日（木）

面接方式・学力検査方式：10：00～

合格発表：2022年3月9日（水）

【初年度納入金】 144万円

(入学金：22万円 授業料：87万円 学園維持金：35万円)

【次年度納入金】 122万円

(授業料：87万円 学園維持金：35万円)

※上記金額の他に学生自治会費など計3万6,430円が必要になります。

※教科書代などの負担は年間で履修科目により2～3万円必要です。

※願書手続等、その他詳細については、社会人選抜入試要項をご覧ください。

(入試日程は産業技術短期大学ホームページでもご覧いただけます。)

【派遣実績企業】（2017～2021年度）

日本製鉄、JFEスチール、神戸製鋼所、岸和田製鋼、コエックス、鴻池運輸、鋼板工業、コベルコ建機、JFE条鋼、JFEプラントエンジニア、新日本電工、住友電気工業、電元社トーア、トピー工業、中山鋼業、日鉄テックスエンジニア、日鉄鉱業、日鉄ステンレス鋼管、日鉄テクノロジー、日鉄ドラム、日本製鋼所、日本冶金工業、中国鋼鐵、中龍鋼鐵

また、カリキュラムは一部変更されることがあります。

【情報処理工学科】

数学系科目を基礎として、コンピュータシステム、情報理論、プログラミング、ネットワーク、データベース、マルチメディア、情報セキュリティ等の専門科目を学ぶ中で、自ら考え問題解決できるソフトウェアエンジニアやコンピュータの高度な活用技術を修得した技術者をめざす。

1年次		2年次	
前期	後期	前期	後期
数学演習	線形代数A	応用数学II	機械工学概論
線形代数	微分積分学	確率・統計	電気工学概論
線形代数演習	応用数学I	情報セキュリティ	情報理論基礎
工学基礎演習I	工学基礎演習II	ネットワーク	情報理論基礎
情報数学	ネットワーク	プログラミング演習II	プログラミングシステム
IT基礎	プログラミング演習I	コンピュータグラフィクス	プログラミング演習III
情報倫理	データベース演習	画像処理	Webデザイン
情報リテラシー演習	マルチメディア	情報処理実験I	CAD
プログラミング基礎演習	情報処理基礎実験	卒業研修	情報処理実験II
ネットワーク基礎			卒業研修
計算機概論			

【金属工学特設科目】

鉄鋼工学概論、化学熱力学、金属物理化学、鉄鋼製錬学、金属組織学、鉄鋼材料学、金属強度学、金属加工学
(各学科共通で履修できます。)

人材開発センター

人材開発センターでは、研修・技術講習、通信教育を通じて派遣学生を支援します。

- 派遣学生事前研修：12月上旬～3月上旬
- 夏季・春季講座：8月中旬～9月中旬、2月中旬～3月下旬

*詳細はP.5～をご覧ください。
研修費は別途、参加案内でお知らせします。

大阪大学研究インターンシップ

夏季休業期間の2～3週間にわたり、大阪大学大学院工学研究科教員の指導のもと、実験から考察、レポート作成に至る研究のプロセスを大阪大学にて体験します。

【発表タイトル一覧 2019年度】

- 機械学習によるヘリウム液化運転の最適化
- 高速度カメラを用いたガスマタルアーク溶接中の溶滴・溶融池挙動観察 他

【ものづくり創造工学科】

微分積分学などの数学系科目や物理学を基礎として、「ものづくり」の基礎である材料力学、機械製法、機械製図等の専門知識やCAD等の操作方法を学ぶ。さらに、実際のものづくり実習を通じて体得させ、一定水準以上の技術、技能および「ものづくり」への熱意を有する技術者を育成する。

1年次		2年次	
前期	後期	前期	後期
工学基礎演習I	工学基礎演習III	創造設計演習II	工学基礎演習IV
工学基礎実習	創造設計演習I	プログラミング実習	システムデザイン実習
工学解析基礎	工学解析演習A	工業材料	流れ学基礎
工学解析演習	工学設計演習	生産工学入門	熱力学基礎
工学基礎演習II	材料力学基礎	機構学	機械製法
物理学基礎	機械設計	デザイン基礎	自動制御
工業力学	機械製図	微分積分学演習	産業組織と工学倫理
機械工学実習	CAD基礎	応用数学II	ビジュアルデザイン
機械製図法I	CAD応用	CAD応用	コミュニケーションデザイン
工学基礎演習I	線形代数	微分積分学A	データ処理法
ロボティクス基礎	線形代数演習	応用数学I	電気工学概論
	ロボティクス基礎	基礎化学演習	情報工学概論
	CG基礎		卒業研修

履修証明プログラム（社会人1年課程）

本プログラムは、学校教育法第105条に規定されている「履修証明プログラム」として認定されています。

「履修証明プログラム」とは、大学が教育や研究に加えてより積極的な社会貢献を促進するため、学生を対象とする学位プログラムの他に、社会人等を対象とした、一定のまとまりのある学習プログラムを開設し、その修了者に対して法に基づく履修証明書を交付できるという制度です。

特徴

- ・機械工学系、電気電子工学系、情報処理工学系の3つの専門分野があります。短期大学（本科2年課程）の「1年前期」・「同後期」の基礎・専門科目を中心に、基礎から積み上げる学習プログラムです。（4月に始まり、翌年の2月に終了するプログラムです）本プログラムは、「履修証明プログラム」として認定されていますので、修了者に対して履修証明書を交付します。
- ・実験実習科目を選択できますので、より実践的に専門知識を修得できます。
- ・2年次の科目を受講する場合の知識不足は、学科教員がサポートします。
- ・本学では、4年制大学でもあまり開講されていない、鉄鋼に関係する金属工学特設科目を設けています。
- ・本プログラムにより受講した科目の試験に合格すればその科目の単位を取得することができます。（夏季春季講座等は除きます）
- ・受講期間内は、すべての学科の開講科目を自由に履修できます。（一部対象外の科目があります）
- ・予め定められた条件を満たした場合に履修証明書を交付します。
- ・数学等の基礎学力に不安を感じる方のために、約3ヶ月の事前研修（12月上旬～3月上旬）をご用意しています。

受講により成長が期待される社員像

製造業の生産現場で業務に従事されている方は、一般的に、現場での経験の蓄積により技術力を高めておられます。本学の履修証明プログラムにより、さらに高度な専門知識を身につけていただければ、より効率的な生産設備・システムの開発や現場で発生するトラブルに的確に対応できる能力を修得することが期待されます。

《主な対象職種》生産設備・システムの開発・改善、整備・メンテナンス、運転・操業 他

《派遣実績企業》

日本製鉄、JFE スチール、愛知製鋼、日鉄建材、日鉄鋼管、大阪チタニウムテクノロジーズ、寿産業、POSCO（韓国）

スケジュール（予定）【2022年度】

	時期	内容
	2021年12月1日(水) ～ 2022年3月4日(金)	・事前研修 (オプション講座)
前期	4月上旬	・開講式 ・前期受講開始
	7月下旬	・授業終了
	7月下旬～8月上旬	・期末試験実施期間
	8月下旬	・成績開示
	8月中旬～9月中旬	・夏季講座期間 (オプション講座)
後期	9月下旬	・後期受講開始
	1月下旬	・授業終了
	1月下旬～2月上旬	・期末試験実施期間
	2月上旬	・プログラム修了式
	2月中旬～3月下旬	・春季講座期間 (オプション講座)
	2月中旬	・成績開示

受講期間 ※2022年度の例
2022年4月～2023年2月（※実質10ヵ月）

受講費用
195万円 ※オプション講座は含みません

※上記の他に、学生教育研究災害傷害保険費等1,340円が必要です。

出願期間
2022年1月14日(金)～2022年1月28日(金)
※出願資格、出願書類、選考方法等については、募集要項をご参照ください。

合格発表
2022年2月9日(水)

人材開発センター

人材開発センターでは、研修・技術講習、通信教育を通じて派遣学生を支援します。

- ・派遣学生事前研修：12月上旬～3月上旬
- ・夏季・春季講座：8月中旬～9月中旬、2月中旬～3月下旬

*詳細はP.5～をご覧ください。

研修費は別途、参加案内でお知らせします。

※・実質の課程期間は約10か月となります。

・日程は現時点での予定です。数日程度、前後する場合があります。

推奨科目 ※ 授業科目によっては、実施時期等により履修できない場合があります。また、カリキュラムは一部変更されることがあります。

○ 機械工学系

	前期	後期
専門教育科目	微分積分学 線形代数学 工学解析 工業力学 機械工学演習 機械製図法Ⅰ ロボティクス基礎 機械情報工学演習	微分積分学演習 線形代数学演習 基礎化学演習 材料力学Ⅰ 流体力学Ⅰ 熱力学Ⅰ 機械製図法Ⅱ 機械設計 機械工学実験Ⅰ
金属科目	鉄鋼工学概論 金属組織学	鉄鋼製錬学 鉄鋼材料学 金属加工学

【その他】
・材料力学Ⅱ ・流体力学Ⅱ ・熱力学Ⅱ ・機械CAD ・CAE基礎
・化学熱力学 ・金属物理化学 ・金属強度学

○ 電気電子工学系

	前期	後期
専門教育科目	電気数学 微分積分学Ⅰ 物理学Ⅰ 回路理論Ⅰ デジタル回路	電磁気学Ⅱ 電気機器学 発変電工学 パワーエレクトロニクス基礎 電子回路 制御工学 シーケンス制御 通信工学 応用実験Ⅰ
金属科目	鉄鋼工学概論 金属組織学	

【その他】
・情報処理応用演習 ・応用数学Ⅰ

○ 情報処理工学系

	前期	後期
専門教育科目	IT基礎 プログラミング演習Ⅱ 確率・統計 情報セキュリティ アルゴリズムとデータ構造 計算機概論 コンピュータグラフィックス 情報処理実験Ⅰ	電気工学概論 プログラミング演習Ⅲ データベース演習 ネットワーク 情報理論基礎 オペレーティングシステム CAD 情報処理実験Ⅱ
金属科目	鉄鋼工学概論 金属組織学	鉄鋼製錬学 鉄鋼材料学 金属加工学

【その他】
・線形代数学A ・化学熱力学 ・機械工学概論
・金属物理化学 ・金属強度学

・応用数学Ⅱ ・コンピュータシステム

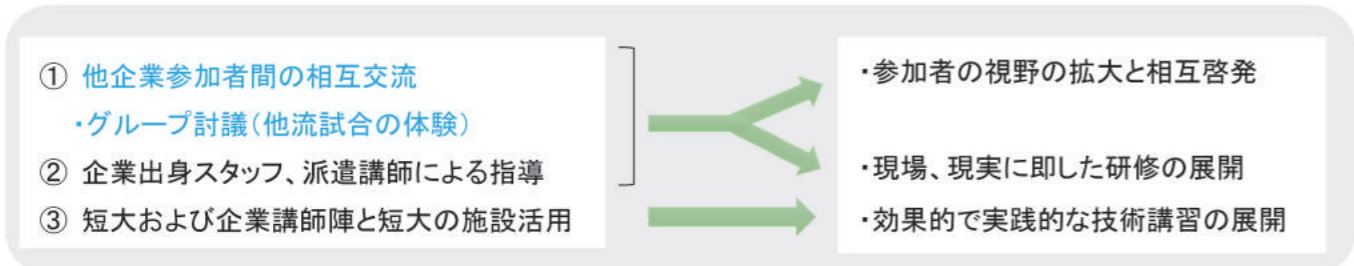
人材開発センターの研修・技術講習等について

人材開発センターについて

人材開発センターは、1974年2月に鉄鋼関連社員の人材開発のために設立されました。設立以来、主に鉄鋼関連社員の研修、通信教育を実施し、事業内容の充実を図ってまいりました。現在では、鉄鋼業だけでなく、広く産業界にも公開して人材育成に寄与しています。

研修・講習の特色

産業技術短期大学の設立目的である産学共同教育の一翼を担い、個別の企業内教育では得られない教育効果が得られます。



事業内容

①研修・技術講習事業

グループ討議やロールプレイを通じた体験学習を重視し、意識改革や人間力向上に重点を置いた研修を数多く開講しています(右表ご参照)。また、産業技術短期大学への派遣学生向けとして次の研修も行っています。

◎産業技術短期大学への派遣学生向け研修

NO	研修コース名	対象者	日程	目的・内容
1	派遣学生 社会人2年課程/ 1年課程 事前研修	産業技術短期大学 社会人2年課程お よび1年課程への 入学を目指すもの	入学前 3ヶ月程度	産業技術短期大学の入学試験及び入学後に必要な基礎学力(数学、物理、化学、英語)の向上を図り、有意義な学生生活へのステップとする。
2	派遣学生 夏季・春季講座	企業派遣学生 1年生および2年生	(夏季) 約3週間 (春季) 約5週間	企業派遣学生の学びの充実化を図る。 講座例 ・授業の理解度アップを目指した講座(復習、予習) ・応用数学、工業数学、力学、物理数学 ・鉄鋼に関する幅広い知識を獲得する講座 ・鉄鋼材料学、各品種概論(鋼管、形鋼、線材、電磁鋼板、特殊鋼、ステンレス)、 溶接の基礎、腐食と防食、せん断と矯正の技術、油圧の基礎 ・鉄鋼会社社員としての知識を得る講座 ・QC2級、3級合格講座、ITパスポート合格講座 ・先端技術についての知識を得る講座:AIとIoTについて ・社会人としての知識、態度に関する講座 ・プレゼンテーション、企業の社会的責任とコンプライアンス、知的所有権の基礎、 人間関係力向上、管理の基礎、海外駐在の経験を通じて

②通信教育事業

企業を支える現場第一線技術者、または事務技術スタッフの基礎教育および専門教育の教材として、鉄鋼関連分野に限らず様々な分野の方々に活用いただいております。基礎的な科目から鉄鋼生産プロセスに関する科目までを網羅し、現場で役立つ技術・知識を効率的に修得できます。

- ・基礎科目：9科目(数学、物理、化学)
- ・共通科目：18科目(機械、電気、計測、製図、油圧、鉄鋼概論、金属材料 など)
- ・部門科目：42科目(製鉄、製鋼、分塊、条鋼、厚板、薄板、鋼管の各部門)

③出張研修事業

研修内容によっては出張研修もご相談に応じます。

◎研修・技術講習事業の概要

No.	講座名	対象者	期間 かっこは Web研修	目的・内容・特徴
1	管理者セミナー	課長・室長クラス	(2日間)	各界の権威者によるホットな講義を通じて、視野の拡大をはかり、問題意識を明確化させると共に、他社の管理者との情報交換、グループ討議などを通じて相互啓発・意識革新をはかります。
2	管理基礎研修	管理者、管理候補者、管理補佐職	3日間 通い研修 (2日間)	管理の基本を学び、人との関わり合いを通じて対人関係能力に気づき、その能力の向上については、管理能力の向上を図ることを目的としています。 ・自分自身の価値観・意識・行動・態度のあり方 ・部下との関係における色々な振る舞い方などを学びます。
3	(新任)係長・作業長研修	係長・作業長およびその候補者	(2日間)	第一線現場トップの育成を図ります。 第一人者としての自覚と共に必要知識に「気づく」だけでなく実践に向けてのテクニックを学びます。 また、グループ討議を通じ、参加者間の相互啓発を深めます。
4	監督者アドバンス研修	係長・作業長およびその候補者	2泊3日 合宿研修	上級監督者のための指針を与えます。 事例研究や鉄鋼大手労政担当室長の講演などを通じ、監督者として広い視野を得ると共に自己の行動の変革をめざし、日常の監督行動改善へのステップとします。
5	監督者テーマ別研修	監督者クラスおよびその候補者	2泊3日 合宿研修 (2日間)	監督者の役割遂行能力の向上を図ります。 部下の指導、安全活動、人間関係に関してグループ討議を通じ、皆さん自身で職場の問題点解決の糸口をつかんでいただきます。合わせて、鉄鋼大手部長講演を通じ、上司から期待される役割を認識していただきます。
6	中堅リーダー研修	今後職場の中核となって活躍して欲しい人	2泊3日 合宿研修	チーム作りのためのマインドを育成します。 リーダーシップの育成、仕事の進め方など課題達成型野外体験学習を通じ、体感していただきます。
7	若手社員テーマ別研修	20代を中心とした若手社員	2泊3日 合宿研修 (2日間)	若年層の意識・意欲向上を図ります。 部下の指導、安全活動、人間関係について、同じ問題を抱える仲間同士、問題に対してどう対処したらよいかを考えていただきます。 又、鉄鋼大手室長講演を通じ、若手への期待を認識していただきます。
8	新入社員研修	新入社員	4泊5日 合宿研修	学生から社会人・企業人へ生活習慣の立て直し、集団で行動する上での基本や会社・仕事での基本を自分たちで考えながら学びます。 寺院体験研修や課題達成型野外体験学習を通じ、社会人へのマインドチェンジをしていただきます。
9	実践!リーダーのためのコーチング研修	管理・監督者、補佐職、若手のリーダークラスおよびスタッフ	2日間 (2日間)	魅力的なリーダーになって成果を出す組織形成を目指します。 メンバーが主体性を持ち最大限能力を発揮し、健全で活発な組織運営を実現するためのコーチングスキルを身に付けていただきます。
10	監督者ヒューマンスキル研修	監督者および候補者、スタッフ	2泊3日 合宿研修	演習・課題を実践することで、グループメンバーとの関わり合いの中から、自己の新しい気づきを発見し、対人関係及び監督者能力の向上をはかります
11	コミュニケーションスキル研修	スタッフおよび一般者から管理・監督者までの幅広い各層	3日間 通い研修 (2日間)	理論・理屈だけでなく、実践を通じて、『端的に話し、積極的に聴く(理解する)、相手に語らせる』という基本スキルを身につけていただき、日常会話の円滑化を図ることを狙いとします。
12	プレゼンテーション研修	若手からベテランまでの幅広い各層	2日間 通い研修	自分の考えを整理し、相手に伝わる発表・報告技術を身に付けます。 ベテランの方は部下への指導としても活用いただけます。
13	職場の問題解決法研修	若手からベテランまで、および若手スタッフ	2泊3日 合宿研修 (2日間)	問題を理論的に解決する手法の習得を目指します。 ベテランの方は部下への指導としても活用いただけます。
14	鉄鋼材料技術講習	鉄鋼製造や鉄鋼製品を使用する仕事に携わっている方	4日間 通い研修	鉄鋼材料の特性や使い方等を学習していただく基礎知識習得講座です。 ・鉄鋼製造プロセスと金属学 ・金属の凝固と状態図等を実習を交えながら学びます。
15	各商品研修(薄板、厚板、鋼管、棒鋼・線材、ステンレス)	各商品の販売、営業所、商社、加工メーカー等の営業系社員	2日間 通い研修	各商品の基礎知識を習得します。 ・種類と特長 ・製造行程と規格、試験方法など 理解度テスト合格者に修了証を授与します。

※開講時期等の詳細は人材開発センターのHPをご覧ください。

http://www.sangitan.ac.jp/jinzai_kaihatsu/